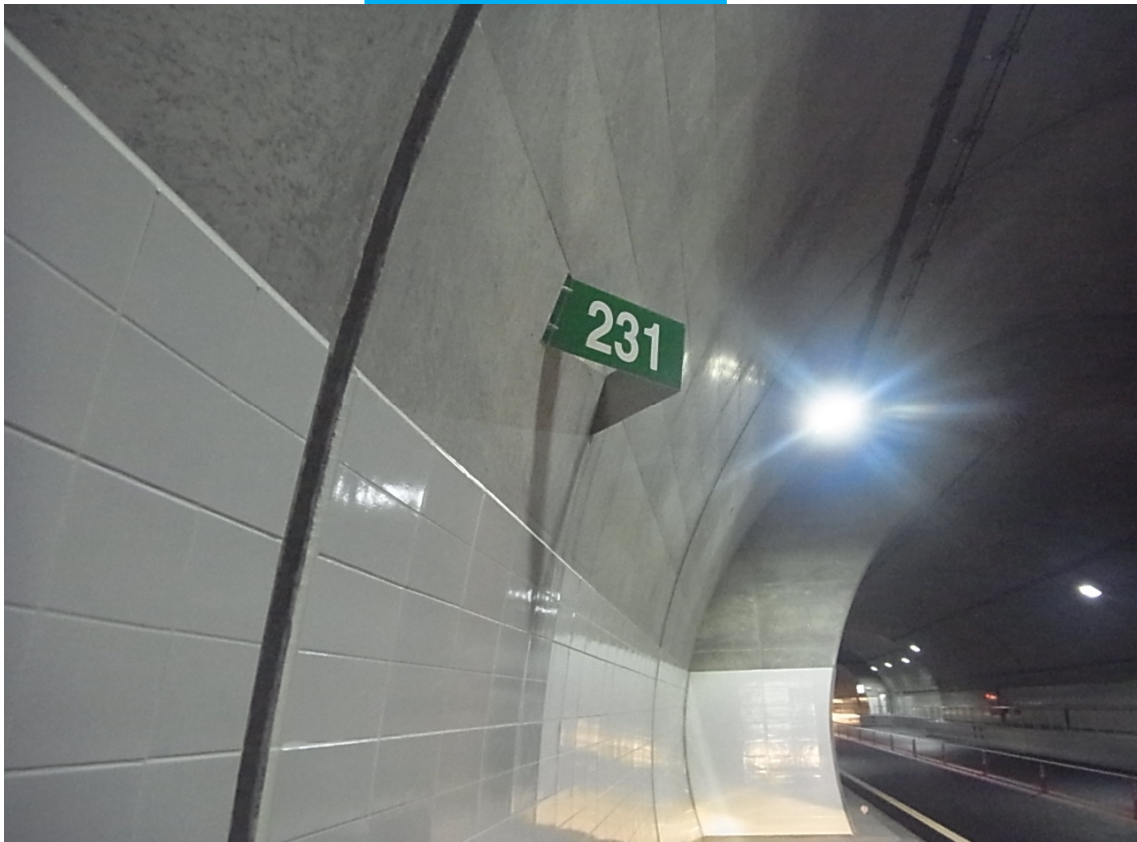


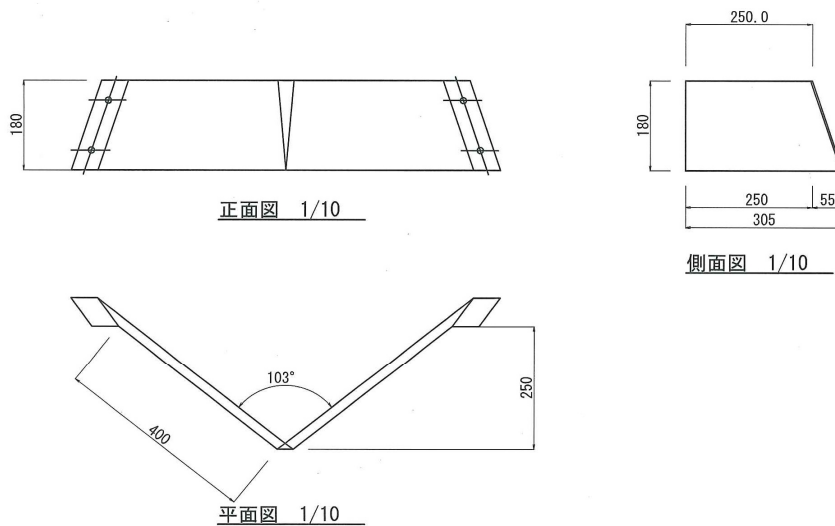
技術概要（様式）

技術分類	<input checked="" type="radio"/> 安全 <input type="radio"/> 防災 <input type="radio"/> 環境 <input type="radio"/> コスト <input type="radio"/> ICT <input type="radio"/> 品質 （該当する分類に○を付けてください）										
技術名称	トンネル特殊両面距離標	担当部署	工務営業本部 技術営業部								
NETIS登録番号		担当者	松森 保司								
社名等	西日本高速道路メンテナンス九州株式会社	電話番号	092-716-3981								
技術の概要	<p>1. 技術開発の背景及び契機</p> <p>従来のトンネル内距離標は、覆工面等に直接取付けてあり走行中に、現在地を把握するには困難であり、煤等も距離標表面を覆い年1～2回の側壁清掃では、視認性が確保できない状態であった。</p> <p>2. 技術の内容</p> <p>構造を山折型にすることで、両方向からの視認性が良く、トンネル内での位置確認が容易にできる距離標です。 立体構造で視認性が向上します。 路面から見やすい角度を付けています。 コンクリート壁面にアンカーで固定するシンプル構造です。</p> <p>3. 技術の効果</p> <p>従来製品に比べて視認性が飛躍的に向上し、道路管理者や交通管理者の位置の把握が容易になるとともに、トンネル内での事故等の事象が起こった際に道路利用者からも容易に位置の把握が可能となり、初期対応に対する情報収集の確実性向上に寄与します。</p> <p>4. 技術の適用範囲</p> <p>供用中トンネル及び新設トンネル</p> <p>5. 活用実績</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr><td>国の機関</td><td>292 組</td></tr> <tr><td>高速道路</td><td>568 組</td></tr> <tr><td>自治体</td><td>0 組</td></tr> <tr><td>民間</td><td>0 組</td></tr> </table>			国の機関	292 組	高速道路	568 組	自治体	0 組	民間	0 組
国の機関	292 組										
高速道路	568 組										
自治体	0 組										
民間	0 組										

取付例



トンネル特殊両面距離標 構造図



仕様: DGタイプ 超高輝度反射シート(広角プリズムレンズ型)
EGPタイプ 普通反射シート (封入プリズム型)